

2025年11月13日  
医薬品等行政評価・監視委員会  
5周年シンポジウム

# 医薬品等行政評価・監視委員会 に期待すること

医薬品等行政評価・監視委員会委員の選考に関する委員会委員  
全国薬害被害者団体連絡協議会副代表世話人

**勝村久司**

# 薬害の原因は「薬」ではない

薬害の原因は「人（産官学の専門家）」

→ だから専門家を監視することで防ぐことができる

薬害の原因は「患者の利益」という目的の喪失

→ 専門家の職業的良心の欠如（利益相反の許容）

薬害の原因は巧妙な「隠蔽」や「情報操作」という手段

→ 専門家の学問的良心の欠如（非論理性の許容）

薬害の防止のためには行政を監視する役割が必要

# 行政評価監視委員会に求める 4つの市民感覚

- 患者（狭義）の視点
- 消費者の視点
- 市民（狭義）の視点
- 被害者の視点

「真のボランティア精神」と  
「健全な市民感覚」で専門家を監視する

# 市民感覚とは何か

- 専門家の利益相反を監視
- 専門家の非論理性を監視
- 患者本位の健全な情報公開の推進
- 患者本位ではない情報操作やプロモーションの監視
- 職業人である専門家を市民が選択し監視する
- 職業人である専門家が市民感覚を失わないこと
- 「患者本位」が欠如していないか評価、監視する
- 「患者本位」の重視は、真の「業界重視」でもある

# 市民感覚に合わない 「非論理性」の例

表 1. 厚生労働省におけるワクチンと有害事象の因果関係評価の分類

$\alpha$ (アルファ)	ワクチンと症状名との因果関係が否定できないもの
$\beta$ (ベータ)	ワクチンと症状名との因果関係が認められないもの
$\gamma$ (ガンマ)	情報不足等によりワクチンと症状名との因果関係が評価できないもの

集合「 $\gamma$ 」は、集合「 $\alpha$ 」に含まれる集合であり、  
集合「 $\alpha$ 」から独立させるのは明らかに間違い。

# 「医薬品等行政評価・監視委員会」 への薬害防止のための要望

- オセロの角(かど)をとりに行く議論を
- 年に一度は厚労大臣に意見書を
- 意見書提出時には厚労大臣と意見交換を
- 利益相反のない医薬品行政を
- 時間との闘いを
- 嫌われる勇気を
- 情報公開の究極である「健全な情報」の普及啓発と「健全な批判力」を高める教育を